

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果の概要について

1 調査の実施状況

令和4年4月19日実施

2 実施教科

国語、数学、理科、学習及び生活に関する質問紙調査

3 教科に関する調査結果

次に示すように、3教科とも平均正答率が全国平均を上回っています。また、各教科の領域別に見ても、ほとんどの領域で全国平均を上回っています。

教科	平均正答率（全国）	本校の全国平均正答率との差	
国語	69.0%	全国平均をやや上回る	+5%以上 : 大きく上回る +3~5% : やや上回る ±3%未満 : ほぼ同じ -3~5% : やや下回る -5%以上 : 大きく下回る
数学	51.4%	全国平均を大きく上回る	
理科	49.3%	全国平均を大きく上回る	

4 考察と今後の対策（○：成果が見られた項目 ◆：課題が見られた項目）

(1) 国語科について

- ほとんどの領域で全国平均とほぼ同じか上回っています。
- 「読むこと」の平均正答率が高く、文学的な文章の構造や内容の把握が正確にできています。
- ◆ 「書くこと」の平均正答率は全国平均とほぼ同じですが、他の領域に比べて平均正答率がやや低くなっています。自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして文章を書くように心がけましょう。
- ◆ 「我が国の言語文化に関する事項」の設問では、他の設問に比べて平均正答率が低くなっています。言語文化に関心を持ち、行書の特徴や整った書き方等を理解できるようにしましょう。

今後のポイント

積極的に授業に取り組み、自分の考えを相手に分かりやすく伝えられるよう意識しましょう。本や新聞を読み、様々な知識を身に付け、生活に生かせるよう心がけましょう。

(2) 数学科について

- 全体的にどの設問も全国平均を大きく上回っています。数学の学習が好きな人や、数・式を使って説明する問題等にも最後まで粘り強く取り組もうと努力した人が全国平均より多くいます。
- 領域別では、「数と式」や「関数」の正答率が高く、授業での小テストや振り返りの成果が表れています。
- ◆ 「図形」の正答率は全国平均を大きく上回っていますが、他の領域に比べて平均正答率が低くなっています。図形の合同についての学習では、証明の必要性や意味を考えながらその方法を身に付けていくようにしましょう。

今後のポイント

数学に苦手意識を持っている人は、まずは自分がよく分からない点を明確にしましょう。また、学習した内容を日常生活や新たな学習の場でどのように活用できるのかに注目しましょう。自分の中で発見があれば、分かる喜びにつながります。1時間の授業に真剣に取り組んで、新たな発見を増やしていきましょう。

(3) 理科について

- 全体的にどの領域も全国平均を大きく上回っています。特に「エネルギー」や「地球」を柱とする領域の平均正答率が高く、知識・技能がよく身についています。これは、理科に対して苦手意識が強い人や、有用性を感じられていない人が多い反面、授業の中で自分の予想をもとに計画→実験→考察→振り返りというよい流れができていたことが質問紙から読み取ることができます。
- ◆ 「粒子」や「生命」を柱とする領域では、全国平均を大きく上回っていますが、他の領域に比べて平均正答率が低くなっています。予想や仮設と異なる結果が出る場合について、結果の意味を考え、実験や観察の方法を再検討できるようにしましょう。

今後のポイント

日頃から身の周りの事象に対して、「これはどうなっているのだろう」「どうしてこうなるのかな」など疑問を持ち、探求する姿勢を作りましょう。自然に学習内容に興味がわき、知識や技能も身に付いてくるでしょう。さらに探求の精神で予想し、方法を考え、解決していくことで、科学を楽しんでいきましょう。

(4) 学習や生活の状況に関する調査について

「学習した内容について、わかった点やよくわからなかった点を見直し次の学習につなげていますか」、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問に対して、肯定的に答えた生徒の割合が高くなっています。見通しを持って、継続的に学習に取り組むことが学力の定着につながっていると思われます。

「総合的な学習の時間に、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する等の活動に取り組んでいますか」という質問に対して肯定的に答えた生徒の割合が高くなっており、自分の立てた課題の達成に向けて熱心に取り組める生徒が多いようです。

「道徳の授業では自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」という質問に対して、肯定的に答えた生徒の割合が高くなっています。級友の考えを通して、自分の考えを広げたり深めたりする大事な時間になっているようです。今後は、学んだことや考えたことを自らの生活に生かすようにしていきましょう。

今後のポイント

家庭での生活・学習習慣の定着が学力向上を支えます。特に、朝食は一日の活力の源です。今後も、朝食を食べて登校するなどゆとりのある朝の過ごし方など意識していきましょう。

ゲームやインターネットなどの使用について、家庭で使用時間や、使用方法についてルールを決めて使いましょう。特に、SNSの使い方については、人間関係のトラブル・ネットいじめ・犯罪などの様々な危険が潜んでいることをしっかりと理解しましょう。便利な機器も、ルールなく使用していると、依存症や犯罪の道具となってしまいます。